新評議員より一言

よろしくお願いします

1組　古屋　ひかる

私が富士河口湖に進学した理由は、柔かく明るい雰囲気に惹かれたからでした。卒業を控えた今、この高校に進学してよかったと心から思えます。

学園祭・球技大会・強歩大会、それから放課後、お昼休み…どんなささいなことでも楽しかった記憶しかありません。それもこれも全部友達のおかげだと思っています。

くだらない事を話して大笑いしたり学校行事にはしゃいだり、テスト前にひいひい言いながら勉強したり。辛いことも楽しいことも共有できる仲間がいたからこそ笑いに満ちた高校生活を送れたと思っています。

これから一人一人違う道へ進みますが高校での出会いや経験は一生忘れないです。楽しい思い出をたくさんありがとうございました。

2組　柏木　勇哉

富士河口湖高校で過ごした三年間は、今、振り返って見ると、あっという間だったなと思います。

私が三年間で一番感じたことは、人との出逢いの大切さです。三年間たくさんの人と出逢ってきました。心から一緒に笑える友達、励まし元気をくれた友達、夢を与えてくれた人、数えきれないほどの出逢いがありました。人は一人では生きていけないとよく耳にしますがその通りだと感じました。河高で、大切な友達と出逢い、仲間のおかげで身心ともに成長できたと思います。

私が高校三年間で出逢った人々は良い刺激を与えてくれる人達ばっかりで、私はそのおかげで、良い方向に向かって行けたと実感しています。出逢いで人は変わっていくと思います。なので私は、少しでも良い方向に人を向かせられるような社会人になっていきたいです。これまで出逢ってきた人々に感謝しています。ありがとう。

そして良き出逢いを…。

3組　渡邊　央行

河高に入学した頃は様々な面でどうしようもない自分でしたが、今となっては少し成長したと思います。それは全く違う考えを持ったり、同じ考えを持つ仲間に出会った事が原因に他ならないでしょう。個性豊かな人間が共存する高校という場所で様々な事を学んだのは言うまでもありませんが、その中でも失敗から学ぶということは大きな影響をもたらしました。

入学前は高校生活に大きな期待を持つことが出来ませんでした。漠々と勉強して部活してそれで終わり。そんな考えを持っていましたが、それでも「心の底から良い友達に恵まれたと思います。このようなすばらしい仲間と別れるのはとても悲しいですが、それぞれの道へ大きく進めたらと思います。河高で過ごした日々を胸に、周りの人々への感謝の気持ちを忘れずにこれから頑張っていきたいです。

4組　三浦　洋平

富士河口湖高校で過ごした三年間は、とても充実していて思い出に残っています。たくさんの友達、努力した部活動、みんなが一団となって取り組む学園祭、すばらしい日々を送ることができました。部活動は楽しいだけではなく、つらいこともたくさんありました。しかし、仲間に支えられながらたくさん成長することができたと思います。

河高での生活がとても充実していたのは周りの支えがあったからだと思います。先生方、先輩、部活の仲間、家族、そして友達がいたからです。特に友達の存在はすごく大きかったです。一緒に遊び、時には言い争いになったこともありましたが、心の底から良い友達に恵まれたと思います。このようなすばらしい仲間と別れるのはとても悲しいですが、それぞれの道へ大きく進めたらと思います。河高で過ごした日々を胸に、周りの人々への感謝の気持ちを忘れずにこれから頑張っていきたいです。

「成功」を糧にして三十二期生として頑張っていこうと思います。

5組　磯田　篤

高の時、早く卒業したいと思っていたのに、今は卒業するのが名残惜しいと思うのは私だけでしょうか…。

富士河口湖高校で過ごした三年間を振り返るとたくさんの事がありました。部活動、学園祭や球技大会などを通して様々な事を経験しました。どの出来事も私にとっては忘れられない楽しい思い出です。

すが、楽しい思い出だけではありませんでした。辛くて苦しい時もありました。しかし、そんな時いつも支えてくれたのが「仲間」でした。今、私がこうして元気に生きていけるのも仲間のおかげです。私にとって仲間はかけがえのない宝物です。

私を支えてくれたのは、仲間だけではありません。富士河口湖高校の先生方、そして家族の支えもありました。支えてくださった人達に感謝の気持ちでいっぱいです。人達が誰かを支えられるように頑張りがとうございました。今度は私

6組　奥脇　拓真

卒業を真近に控えた今、この緑豊かな富士河口湖高校で過ごした三年間という年月は本当にあっという間でした。しかし、この三年間はとても充実していたように感じます。この三年間を通し、多くの友達に支えられ、日々を重ねることに身も心も大きく成長してきたことを心から感じることができます。富士河口湖高校には感謝の思いがたくさんです。多くの友達に巡り会え、仲間という一つの目標に向かって努力したことは一生の宝物です。また、担任の先生をはじめ多くの先生方には本当にお世話になりました。このような目標に向け精一杯努力していきたいです。この河高で過ごした三年間をこれからも大切にしたいと思います。楽しい思い出をたくさんありがとうございました。

7組　富山　信志

高校生活は小学校、中学校に比べてとても短く感じました。なぜなら、高校三年間はとても楽しく充実していたからです。しかし、辛い時期もあり、早く卒業したいと思う時もありました。今はもう少し、あこの仲間達と楽しみたいという気持ちが強いです。河高に通う中で、それぞれの思い出ができました。紫光祭・球技大会・修学旅行、どれも印象深くついこの間の出来事だったように感じます。このように楽しい思い出が作れたことは、先生方や家族、河高の仲間達のおかげであると思っています。感謝の気持ちを忘れずに、新たな道を歩んでいきたいと思います。そして目標に向かって努力していくことが恩返しだと思っています。最後になりますが、この三十二期生の仲間達と過ごした日々は、かけがえのない大切な思い出です。一生涯の思い出をありがとうございました。

近況報告

お久しぶりです

28期　渡邊　大規

2010年度の就職を終え、すべての試合が価値のある試合や経験となりました。8月にボーランドで行われた世界カヌースプリント選手権では日本人初の500mシングルB決勝に進出し、アジア勢とトップの成績を残すことができました。今までの世界選手権は気持ちの面で負けている部分がありましたが、平成22年の世界選手権は今までの反省を活かすことができました。ただし、あと1歩のところでA決勝に進むことができませんでした。

また、11月に中国の広州で行われたアジア競技大会ではK−2（1000m）で銅メダルを獲得できました。大会の目標として「金メダル獲得」最低でもメダル獲得」を掲げ、大会に向けての合宿を高地トレーニングが目的であるメキシコで行い、競技力向上に努めました。合宿の中身もナショナルチームで行う練習は内容が濃く日々レベルアップしているのを実感することができました。

アジア大会では試合の3日前にペアの相手が変わるということがありましたが、不安や焦りを出さないようにしました。試合当日は身体のコンディションも良い状態で予選に臨めました。予選は全体のトップのタイムで通過でき、タイム的にも3分16秒でペアとしての自己ベストを出すことができました。予選が終わり、決勝の日まで2日空いていました。その2日間の寝る前は、目を閉じたら決勝のレースのことを考えたくないのに考えてしまい、全く寝つけませんでした。このような経験は初めてで今後の良い経験となりました。決勝当日は寝不足感も不思議となく、良い緊張感でレースに臨めました。結果は3位。優勝を目指していた分悔しかったのですが、悔いは残っていません。今の100%の力を発揮できたと私は思っています。その課題を克服することができ、その課題を1つずつ克服することでアジアや世界との差を埋めることができると思います。

大きな差ですが埋めることができないことはありません。自分がどこまで努力することができるかです。

近況報告

13期　井出（旧小俣）裕子

1992年3月、まだまだバブリーだったこの年、私たち13期生は河高を卒業しました。

それからもう20年。長いようで本当にあっという間です。

私は、4年前に結婚し、富士吉田を離れ東京の国立市で暮らしています。

最初の一年は本当に辛い一年でした。知らない町で友達もいないという環境は思っているよりもはるかに辛いものでした。そんなとき支えてくれたのは、実家の家族と高校時代の友達でした。久しぶりの再会でも、空いてしまった時間を感じさせない心遣いをしてくれる友達は本当にありがたいです。

昨年の10月くらいから本格的に同窓会の準備が始まり、卒業以来会っていなかった同級生に会え、そしてみんなの生感命活動してくれました。本当に感謝しかないです。この際、私が卒業式で読んだ答辞の原稿が出てきました。（皆さんもうろ覚えでしょうが…）

「私達がこれから進もうとしているそれぞれの道には困難が待ち構えているかもしれませんが、三年間で何よりも河校生としての誇りを持って、努力していきます」と書いてありました。

この20年を振り返ってみますと、努力できていなかったことの方が多いように感じますが、この原稿をもう一度読み返すことで、当時の気持ちを思い出すことができました。

13期生のみなさん、大人になった高校時代の懐かしい同級生に会いに、7月の同窓会にぜひ参加してください。そして、貴重な1日を楽しく過ごしましょう！

『同窓会総会を終えて』

平成22年度山梨県立富士河口湖高等学校第31回同総会　実行委員長　渡邊慎司

平成22年7月31日県立富士河口湖高校同窓会総会を無事終了することができ会の場をお借りして関係企業、関係者の皆様におお礼申し上げます。

初めてする事のために不備があった点はお詫び申し上げます。1年間という準備期間が瞬く間に過ぎ当日も総会、懇親会の出席人数に頭を悩ませたりしたが期生はトレーニングルーム室の拡充という事を事業としてさせて頂いたのは、本当に嬉しく思います。

意見を頂き検討を重ねた結果のものです。在校生の皆様には大事に使っていただければと思います。

さて、景気低迷が長引くなか、世相も暗く悲惨な事件も後を絶ちません。総会の挨拶でもお話しましたが一人ひとりが前向きな心を持ち、どうせ行動しても変わらないではなく何かしらの動けば徐々にですが道は開けると思います。

最近の傾向として金儲けを望む人が非常に増えたと感じます。マスコミにも原因はありますが私達の気持ちがしっかり物事を見極める力を養い足りることを知るということを学ぶ必要があります。

在校生の皆様には就職、進学など大きな理想を持ちなが足元をしっかり固めて自分自身を知り、情報の正誤を判別しながらすばらしい生活を送られることを祈念して挨拶とさせていただきます。

頑張りました！ 母校部活動報告

山梨県総合体育大会
男子　総合　9位
女子　総合　9位

関東大会以上

卓球部
全国高等学校選抜大会
女子　シングルス　5位入賞
関東大会
女子　団体戦　出場
インターハイ
女子　シングルス　出場
関東選抜大会
女子　団体戦　7位入賞
→ 3月の全国選抜大会へ

漕艇部
全国高等学校選抜大会
男子　クォドルプル　出場
女子　ダブルスカル　出場
関東大会　6部門に出場

JOCジュニアオリンピックカップ
男子　シングルスカル　出場
インターハイ
男子　クォドルプル　準決勝進出
女子　ダブルスカル　準々決勝進出
クォドルプル　出場
国体関東ブロック予選
5部門に出場、2部門で国体へ
国体
男子　クォドルプル　準決勝進出
女子　クォドルプル　準決勝進出
関東選抜大会　6部門に出場
男子　シングルスカル　4位入賞
女子　クォドルプル　3位
→ 3月の全国選抜大会へ

剣道部
関東大会
男子　団体　出場　個人　出場
女子　個人　出場
インターハイ
男子　団体　出場　個人　3回戦進出
女子　個人　3回戦進出
全国高等学校選抜大会山梨県予選
男子　団体　優勝
→　3月の全国選抜大会へ

柔道部
関東大会
男子　団体　出場

陸上部
関東大会
女子　走り高跳び　出場
関東新人大会
男子　円盤投げ　出場
やり投げ　出場
女子　走り高跳び　出場

カヌー部
関東大会　4部門に出場
男子　C−1　3位
女子　K−1　3位
インターハイ
男子　500m　K−1　準決勝進出
C−1　6位入賞
K−2　準決勝進出
200m　K−1　準決勝進出
C−1　7位入賞
関東新人大会
男子　K−1　2位　K−2　2位
女子　K−2　2位
国体
男子　500m　K−1　準決勝進出
C−1　6位入賞
200m　K−1　準決勝進出
C−1　8位入賞

社会科学部
全国総合文化祭
弁論部門　連盟奨励賞受賞

なぎなた
関東大会
演技の部　2位
試合競技の部　個人　3位
インターハイ
演技の部　出場
試合競技の部
個人　決勝トーナメント進出
国体
演技の部　出場
試合競技の部　団体　出場

ゴルフ
関東大会　個人　出場
国体　個人　出場
団体　出場
関東冬季大会　個人　7位
→　3月の全国選抜大会へ